

2024 年度活動計算書・2025 年度活動予算書(案)

2025 年 4 月 5 日

特定非営利活動法人きらきら発電・市民共同発電所

(単位円)

(2023 年度決算の会計期間は 2023 年 4 月 1 日より 2024 年 3 月 31 日まで)

科 目	2024 年度予算	2024 年度決算	2025 年度予算案
〈収益事業〉 発電収入	9,000,000	8,874,474	8,700,000
その他収益	12,000	15,917	12,000
合計	9,012,000	8,890,391	8,712,000
経常費用			
電気代	86,000	65,422	86,000
保険料・保守契約	650,000	587,690	1,070,000
設備交換積立金	500,000	500,000	0
地代	300,000	279,297	300,000
減価償却費	4,365,000	4,365,000	4,365,000
人件費	960,000	960,000	630,000
旅費交通費	70,000	92,319	240,000
通信費	285,000	255,860	285,000
印刷費	80,000	120,744	40,000
事務費	80,000	66,177	80,000
租税公課	550,000	543,500	500,000
会議費	20,000	0	20,000
発電所整備費	100,000	289,954	1,052,000
発電所建設費	1,480,000	1,480,000	0
合計	9,526,000	9,605,963	8,668,000
当期増減額	-514,000	-715,572	44,000
〈非営利活動〉 I 経常収益			
1 会費収入	10,000	30,000	10,000
2 企画収入	0	0	0
3 寄付金・他	600,000	1,773,400	240,000
経常収益合計	610,000	1,803,400	250,000
II 経常費用			
会議費	60,000	22,613	60,000
事務費	12,000	5,891	12,000
印刷費	20,000	0	20,000
企画費・諸会費	80,000	108,000	60,000
10 周年基金	0	0	100,000
経常費用合計	172,000	136,504	252,000
当期増減額	438,000	1,666,896	-2,000
当期正味財産増減額	-76,000	951,324	42,000
前期正味財産額	5,673,140	5,673,140	6,624,464
次期繰越正味財産額	5,597,140	6,624,464	6,666,464

決算(案)の説明

収入

2024 年度は天候不順で予算より 12 万円ほどの減収となった。

今期亡くなられた小河原武氏が遺産より 100 万円ご寄付してくださった。2026 年度建設予定のももの木保育園建設費の基金としたい。

支出

亘理発電所のこけ対策として実施した防草シート張で、20 万円近く材料費支出があった。

印刷機故障により 6 万円ほどの出費があった。

来年度の予算案

収入 来年度は出力抑制が強化されるので、2024 年予算より収入を 30 万円減とした。

支出 2025 年より広幡車両のタイヤ代を旅費交通費で負担する。年間 15 万円。

保険料が倍近くに上昇し、昨年より 42 万円引き上げる。

人件費を 96 万円から 60 万円に引き下げる(固定寄付金を減らしても大丈夫だから)。

発電所整備費に 5G 対応の通信機の設置費用を計上(902,000 円)。

基金の返済

今年度は 600 万円の目標額を立てたが、結果は 591 万円。7 年間の返済額は 3,730 万円。残額が 3,452 万円。今後も 500～600 万円返済し、2030 年には完済したい。

以上

活動計算書注記

1、重要な会計方針

この計算書類は NPO 法人会計基準(2010 年 7 月 20 日、2011 年 11 月 20 日一部改正 NPO 法人会計基準協会)によっています。

(1)固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却方法は、税務署に申請の上、定額法で償却しています。

(2)施設の提供等物的サービスを受けた会計処理

施設の提供等の物的サービスについては活動計算書に計上していません。

(3)ボランティアによる役務の提供の会計処理

役員及び会員の役務の提供は、事務局長の発電業務を日当支給する外、すべて無料ボランティアとしています。

(4)消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

2、固定資産の増減内訳

科目	取得価格	圧縮経費	減価償却	期末帳簿価格
土地				1,686,750 円
太陽光発電			4,365,000 円	35,554,460 円

青葉区台原に 10 号機建設しましたが、家庭用太陽光につき固定資産に含まれません。

3、借入金の増減の内訳

科目	当期借入	前期残高	期末残高
役員借入金	0 円	36,230,000 円	30,420,000 円

(1)2020 年度より借入金の返済を開始しました。今年の返済額は 591 万円。新基金 10 万円。

(2)ほかの N P O 法人に 510 万円基金(無利子)として貸し付けています。

5、役員及びその近親者との取引の内容

事務局長広幡文宅を事務所として提供していただいておりますが、家賃の支払はありません。

貸借対照表

2025 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人きらきら発電・市民共同発電所

(単位：円)

科目	金額	小計	合計
I 資産の部			
1 流動資産			
預金	2,789,943		
現金	13,311		
棚卸資産	0		
流動資産合計		2,803,254	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
発電所	35,554,460		
土地	1,686,750		
有形固定資産計	37,241,210		
(2)投資その他の資産			
敷金	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		37,241,210	
資産合計			40,044,464
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
預り金	3,000,000		
前受助成金	0		
流動負債合計	3,000,000	3,000,000	
2 固定負債			
役員借入金	30,420,000		
固定負債合計		30,420,000	
負債合計			33,420,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,673,140	
当期正味財産増加額		951,324	
正味財産合計			6,624,464
負債及び正味財産合計			40,044,464

2024 年度財産目録

2025 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人きらきら発電・市民共同発電所

(単位：円)

科目	金額	小計	合計
I 資産の部			
1 流動資産			
預金	2,789,943		
現金	13,311		
棚卸資産	0		
流動資産合計		2,803,254	
2 固定資産			
(1)有形固定資産			
発電所	35,554,460		
土地	1,686,750		
有形固定資産計	37,241,210		
(2)投資その他の資産			
敷金	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		37,241,210	
資産合計			40,044,464
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	0		
預り金	3,000,000		
前受助成金	0		
流動負債合計		3,000,000	
2 固定負債			
役員借入金	30,420,000		
固定負債合計		30,420,000	
負債合計			33,420,000
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		5,673,140	
当期正味財産増加額		951,324	
正味財産合計			6,624,464
負債及び正味財産合計			40,044,464

2024年度事業報告書(案)

(2024年4月1日～2025年3月31日)

特定非営利活動法人きらきら発電・市民共同発電所

1、事業の経過

この法人は、自然エネルギー発電事業を市民共同出資で展開し、地球温暖化を防止し原発再稼働を阻止して、持続可能な社会の実現に資することを目的に活動しています。事業の柱は太陽光発電事業で、2015年若林区井土浜・太白区柳生の2か所に太陽光発電所を開設し、2016年10月塩釜市あゆみ保育所に、2018年8月亘理町長瀬に、2019年3月多賀城市伝上山に設置。FIT制度終了の2020年からは民家の屋根借りに移行し、同年11月宮城野区蒲生に6号機、2022年3月若林区なないろの里に7号機、2022年10月若林区荒井に8号機、2024年3月泉区南中山に9号機、2024年11月青葉区台原に10号機を建設しました。なお2020年7月、太白区柳生のもりの子発電所(30kw)をもりの子保育園の運営法人宮城厚生福祉会に無償譲渡しました。

太陽光発電所の建設基金は152名より7,172万円預かりました。2024年1名10万円のご協力がありました。また亡くなられた会員小河原武様(太白区ひより台)が100万円の御寄付をしてくださいました。さらに2026年の古川ももの木保育園への太陽光設置の準備作業の中で寄付金の協力があり、10名24万円の寄付が寄せられ、これまでの寄付金合計が延べ515個人・団体より2,418万円となりました。このように多くの市民の協力を得ながら、きらきら発電は着実に自然エネルギー発電所を増やし続けています。

建設基金の返済は2018年より開始し、2018年424万円、2019年559万円、2020年542万円、2021年322万円、2022年781万円、2023年511万円、2024年591万円で、合計3,730万円返済しました。2030年度の完済をめざします。

きらきら発電の太陽光発電所の概要は以下の通りです。

井土浜1号機 仙台市若林区井土字宅地17 2015年9月建設・野立て・50kw
もりの子2号機 仙台市太白区柳生 2020年譲渡 2015年10月建設・屋根・30kw
あゆみ3号機 塩釜市花立町1-16 2016年12月建設・屋根・14kw
亘理4号機 亘理郡亘理町長瀬大橋220-9・220-21 2018年8月建設・野立て・50kw
伝上山5号機 多賀城市伝上山4-8-1 2020年3月建設・野立て(カーポート)・50kw
蒲生6号機 仙台市宮城野区蒲生 2020年11月建設・屋根・12kw
なないろの里7号機 仙台市若林区なないろの里 2022年3月建設・民家屋根借り・3kw
荒井8号機 仙台市若林区荒井 2022年7月建設・民家屋根借り・4.6kw
泉中山9号機 仙台市泉区南中山 2024年3月建設・民家屋根借り・4.2kw
台原10号機 仙台市青葉区台原 2024年11月建設・民家屋根借り・4.6kw

2、活動方針に基づく取り組み

(1)基金返済を2030年に終了させることを目標に、毎年500～600万円返済する

今年は650万円を目標に12名の方に基金返済を申し入れしましたが、8名591万円の返済にとどまりました。来年も600万円目標に返済業務に取り組みます。

(2)新規太陽光発電建設の取り組みを継続する

今年は青葉区台原10号機の建設に取り組みつつ、泉病院屋上太陽光発電の設置応援をしてきました。泉病院新病院は2025年4月引き渡し予定で、泉病院屋上太陽光建設(パネル30kw・PCS20kw)は2025年9月になる予定です。2026年の建設は古川ももの木保育園を候補地にあげ、パネル15kw・PCS10kw規模を想定し、現地との協議や寄付金募集の準備を進めています。小河原基金(100万円)をももの木保育園への建設費に充てる予定です。

きらきら発電自身の太陽光発電所建設だけでなく、去年は会員にも太陽光発電の設置を呼びかけ、塩釜の会員2名が4kwの発電所を設置しました。

(3) パソコン交換(2030年～2035年)のための積立金50万円を継続

パソコン交換の積立金を1昨年30万円から50万円に引き上げました。2024年井土浜発電所がパソコンの調子が悪く発電が停止したので、通信機と合わせて2025年9月パソコンを交換する予定です。

(4) 自然エネ実験出前講座の開催

例年実施している井土プチマルシェや古川くりの木保育園での出前講座のほかに、今年は荒浜里海ロッジや塩竈防災祭り・女川夏祭りなどにも出店しました。

(5) 自然エネ学習講演会の開催・気候危機回避の取り組み強化

みやぎ地域・市民電力連絡会として3月および12月に自然エネ学習会を開催しました。3月にISEPの飯田哲也氏を講演に呼んだことがきっかけとなり、黒川郡大和町で大規模農業ソーラーシェアリング建設の話が進んでいます。12月の講演会では、里山の間伐材を利用した「まきストーブ」の活用が話題になりました。

(6) 女川原発再稼働反対

きらきら10号機が稼働した11月、女川原発が再稼働しました。能登半島地震でもあきらかなように、複合災害での原発事故は避難が不可能です。稼働中止の運動を継続していきます。原発事故避難者の現状を知るために、ほっと岡山を運営されている服部さん(自身が東京から避難しながら、避難者支援事業を立ち上げた)の講演を10月に行いました。

原発再稼働に伴い、今年から自然エネルギーの発電抑制が強化されます。原発が再稼働したばかりの昨年11月、11月としては初めて出力抑制が生じました。自然エネ由来のきれいな電気を捨てさせないために「自然の電気を有効に使う市民運動」を起こしていきたいと考えます。

また継続されるトリチウム水の海洋放出に引き続き反対していきます。

(7) 10周年記念企画の具体化

10周年記念企画として「ホームページを管理会社に移行する」と「記念映像作り」を考えています。ホームページの方は2023年に予算化しました。映像の方は、2025年に予算化します。

(8) 自然エネルギー排除の動きへの対応

去年の総会方針では取り上げていませんが、仙台市内や東北各地で自然エネルギーを敵視または排除する動きが目立っています。仙台市でも太白区・青葉区境で森林伐採してメガソーラーを建設する話が浮上し、環境悪化を理由に建設反対の住民運動が進んでいます。森林伐採し太陽光を建設することは、温暖化ガス削減の趣旨に沿わない行為で、きらきら発電もそのような建設は反対です。しかし住民説明会後業者側はまったく動きがなく、宮城県も仙台市も建設地に適した場所ではないと表明しています。今後も注視していく必要があります。

きらきら発電は仙台西部で起きたメガソーラー火災事故を問題視し、仙台市との懇談を行い、火事の原因となったPCSメーカーの公開を求めました。またシャープ仙台支店に講師依頼し、PCS機能についてのオンライン学習を行いました。

自然エネルギーを取り巻く環境は年々厳しさを増していますが、来年よりCO₂排出取引(2016年より開始、CO₂/t 289円)が本格化することになっており、自然エネルギーに好影響をもたらすのではと期待します。

3、実施体制等に関する事項

(1) 理事会及び総会・監査の開催状況

第 107 回理事会 2024 年 4 月 13 日第 10 回定期総会の準備、出力制御問題
第 10 回定期総会 2024 年 5 月 6 日開催(内容は今年の事業報告書参照)
第 108 回理事会 2024 年 6 月 1 日第 10 回定期総会の報告、役所への届け出
第 109 回理事会 2024 年 7 月 13 日 10 号機建設候補地、古川くりの木出前講座ほか
第 110 回理事会 2024 年 8 月 10 日大川小見学ツアー、女川夏祭り出前講座
第 111 回理事会 2024 年 9 月 14 日 10 号機工事、仙台市環境局との懇談、ほんと岡山講演
第 112 回理事会 2024 年 10 月 5 日 PPA の検討、10 周年記念事業の検討
第 113 回理事会 2024 年 11 月 9 日仙台西部メガソーラー火災、来年度通信機交換について
第 114 回理事会 2024 年 12 月 7 日 10 周年記念事業、メガソーラー火災シャープに講師依頼
第 115 回理事会 2025 年 1 月 4 日古川ももの木保育園検討、第 11 回総会記念講演
第 116 回理事会 2025 年 2 月 8 日古川ももの木保育園検討、10 周年記念事業検討
第 117 回理事会 2025 年 3 月 1 日第 11 回総会議案・場所・記念講演・予算ほか検討
会計監査 2025 年 4 月 2 日以降の予定。

(2) 正会員および賛助会員に関する事項(2025 年 3 月現在)

正会員数 84 人、賛助会員数 180 人(いずれも個人)

(3) 役員に関する事項(2025 年 3 月現在)

役員総数 4 人(理事 3 人、監事 1 人)

代表者 理事長 水戸部 秀利

(4) 職員に関する事項(2025 年 3 月現在)

職員は無し

(5) 事業に参加したボランティア

ボランティア事業は無し。発電所の除草作業に延べ 15 名のボランティアが参加。

(6) 情報発信体制に関する事項

ホームページ <http://kirakirahatuden.com/>

4. 来年度の活動方針

・太陽光発電の増設

泉病院屋上太陽光発電設置支援、古川ももの木保育園設置準備、2027 年度の候補地検討

・気候危機打開・地球沸騰化阻止

自然エネ学習講演会、自然エネ実験出前講座、仙台市への要請、その他

・女川原発再稼働反対・放射能汚染拡散ストップ・出力抑制対策

能登半島地震により、牡鹿半島沖の海溝型地震だけでなく、内陸型地震の危険性。

避難計画のずさんさ、海洋放出によるトリチウムの危険性、政府による汚染物質全国拡散

・10 周年記念企画

10 年の歩みの映像化、10 周年記念講演会、ほか

・保険料引き上げへの対応

倍近くに引きあげられた保険料にいつまで耐えきれぬのか、長期見通しの検討

以上